

# 第100回例会「鮎釣り」

2015年8月5日(水)

参加者5名



今年度、第4回目の例会を実施しました。今回は、安曇川での鮎釣りです。7月の台風11号による大雨の為、大增水となり、河川の回復状況が遅く、当初の予定日より一週間延期しての例会です。鮎釣りは、参加者がやや少ないですが、鮎釣りを是非やりたい人ばかりの集まりで、参加者は5名でした。

8時に安曇川沿いの民宿「安曇川荘」に集合した後、オトリ鮎を調達し、早速釣り場に向かいます。今回の場所は、当初の予定より下流側の広瀬地区としました。到着後、熱中症予防の水分補給や、日照予防対策を十分にして、河川に入ります。オトリ鮎が弱らないように、すぐオトリカンに川に沈めた後、仕掛けの準備です。オトリ鮎の鼻に鼻環、尻ヒレに逆さ針をつけます。初心者は、この作業に手間取り、鮎を弱らせてしまいます。友釣りは、鮎の元気さが一番で、これで釣果が変わります。各自、好みのポイントに入り、友釣りの開始です。早速釣れた人、なかなか釣れない人と、いつもながらの釣り風景です。鮎は縄張りをもつ習性があり、オトリが鮎に近づくと、オトリに襲いかかるので、その時オトリの逆さ針に引っ掛けて釣るユニークな釣りです。

今回は、鮎の育ちが悪く、10～15cmの小鮎がほとんどでしたが、中には20cm前後の鮎を釣りあげた人もあり、1人10匹前後の釣果でした。3時半に納竿し、釣った鮎をお土産に、各自安全運転で帰路につきました。

## ＜本日の釣果＞

1人平均10匹前後。10～15cmの小鮎が多かったが、中には20cm前後の鮎も釣れました。



釣り場に到着、ポイントを探します



まずは、オトリカン（オトリ）を川に沈めます



鮎の鼻に鼻環、尻ヒレに逆さ針をつけます



早速、友釣りの開始です



鮎がかかりました！



日陰で、昼食後の休憩です



今回は育ちが悪く、ほとんど小鮎です



中には、大型が釣れた人もいます



一日、楽しい釣りが楽しめました



皆様、参加ありがとうございました

今回の世話役は、矢津田さんをお願いいたしました。大変御苦労さまでした。  
次回の例会は、淀川でのハゼ釣りの予定です。

文責・HP担当；佐藤和夫